

百周年記念

振角白鷺奨学基金

21年度から

支給開始

今回、創立百周年を記念して「百周年記念振角白鷺奨学基金」が設立されました。

振角さんは現在書家として幅広く活躍されています。

この奨学金の設立は、当時は女子が高等教育を受けられる時代ではなく、「女は大学に行かなくて良い」と言われ、悔しい思いをされた振角さんの思

いが形になったものです。

事業内容は

■給付期間 大学在学中の4年間

■給付額 月額2万円

■募集人数 年間2名

となっており、平成21年4月から支給を開始します。

第1回分はすでに決定しています。3月30日(月)には、振角さんと奨学金を受ける生徒たちとの交流会を行いました。



■振角白鷺(はくが)さん

大正13年生まれ(県女29期)。日展会友(漢字入選32回)。日本書芸院参与。兵庫県書道会参与。白鷺書道会主宰他。

奨学基金に寄せて

県女29期 振角白鷺

県立姫路高等学校5年生の授業中に、日米開戦を聞かされ、今にも米機が飛来してくるのかと不安だったことは忘れられません。その後、二人の兄は戦死、姉は嫁ぎ。老父母と三人になってしまいました。親には迷惑はかけられませんでした。書道に専念。指導と家業の仏壇商、位牌の文字刻字を19歳から40歳ごろまで続けました。

体力をつけるため、学生時代はテニス、社会人になっても週一回はヨガ教室に通い、自分のオリジナルを作って毎朝休むことなく1時間半を今でも続けております。

私のモットーは「塵も積もれば山となる」です。ともかく持続すること。

私も大学受験を希望していましたが、当時のこと、断念の悔しさを母校への恩返しと思い、一人でも優秀な生徒さんのために協力させていただくこととしました。私も命ある限り、楽しみながら精進させていただきたいと思っております。

東生会育英基金事業のあゆみと現状

平成3年1月、県立姫路高等学校30期の加藤澄子さん(昭和39年没)の遺志により、公益信託加藤澄子奨学基金を設立、平成4年から給付を開始しました。対象は、大学入学者3名(姫路東高卒業生2名、姫路西、市立姫路高校卒業者を交互に1名)です。

平成10年4月、創立90周年記念事業として「東生会育英基金」を設立。

平成13年、加藤澄子奨学基金の原資減少に伴い支給人数を1名減としたため、その補完として「東生会育英基金」より給付を開始しました。

今回、創立100周年記念事業として、平成21年度から対象を在校生にも拡げることとしました。そのため平成20年4月から基金拡充の募金を開始しています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

県女跡記念碑その後

創立80周年記念事業の一環として、旧校地の(現東光中学校)に建立された記念碑は、戦火で母校を焼失した県女生の悲願だった。建立提唱の先がけとして村角容子(34期)、石田康世(10期)両副会長(当時)のご尽力もさることながら、今なお34期の有志による毎月の清掃と、年末の大掃除や、東光中学校の



「東生三十年」より